



株主メモ

Takano
タカノ株式会社

証券コード：7885

タカノ通信 Vol.32

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	同上
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(※) 	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。



伊那名物『ローメン』

近年、地域の名物料理や郷土料理の日本一を競う「B-1グランプリ」が開催されるなど、各地のご当地グルメが脚光を浴びていますが、当社の伊那工場、下島工場の所在地である長野県伊那市では、『ローメン』というご当地グルメが古くから人気を集めています。

ローメンとは、マトンなどの肉とキャベツなどの野菜を炒めて、蒸した太目の中華麺を加えた伊那地方特有の麺料理です。マトン、ニンニク、キャベツなどの香りが混ざり合った独特の風味が特徴的で、汁気の多いスープ風ローメン、汁気のない焼きそば風ローメンがある他、最近ではマトンではなく豚肉を使用するローメンもあります。

ローメンの発祥は昭和30年頃までさかのぼり、元々は1軒の店が開発したメニューの1つだったそうですが、次第に周囲の店に広まり、やがて伊那名物となりました。今では学校給食にも取り入れられ、スーパーでも販売されています。また、最近では中華まんの具をローメンに変えた「ローメンまん」が販売されるなど、地元の味としてさまざまな形で広く親しまれています。



NAGANO trend 21



©Snowman Enterprises Ltd. 2011 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

第59期 中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで





株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社の第59期第2四半期累計期間の業績並びに通期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災以降停滞していた生産活動はサプライチェーンの立て直しにより持ち直しつつあるものの、欧州の財政不安にともなう世界的な景気の下ぶれや急激な円高の進行等により、先行きはきわめて不透明な状況で推移しております。このような厳しい環境のもとで、当社グループは「百年企業となる」を長期経営目標に掲げ、「危機を克服し、新たな成長路線を築く」をスローガンとし、

中期的な行動指針に掲げる「大胆な意識改革・構造改革を行う」、「新しいことに積極的に挑戦し、差別化を進める」、「グローバルの視点で考え、行動する」、「ものづくり+αで新たな価値を創出する」の各施策を進めるべく、引き続き、内外製区分の見直しや製品設計等の標準化を通じたコストダウン活動を行うほか、新たな成長路線を築くべく、新分野の開発活動、新規顧客向けの営業活動に注力してまいりました。

その結果、住生活関連機器事業にかかるオフィス家具製品の販売減少はあったものの、検査計測機器の販売は堅調に推移したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,618百万円で、前年同四半期比402百万円（5.6%）の増収となりました。

一方、利益面につきましては、積極的な合理化に努めたものの、東日本大震災にともなうサプライチェーンの混乱の影響等により、住生活関連機器事業オフィス家具製品の販売が低迷し、工場の操業度が低下したこと等の要因により、営業利益は172



代表取締役社長
鷹野 準



To Our Shareholders

百万円（前年同四半期比43.1%減少）、経常利益は154百万円（同52.7%減少）、四半期純利益は47百万円（同86.6%減少）となりました。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移し、当社を取り巻く事業環境は大変厳しく、予断を許さない状況は継続するものと思われます。

このような厳しい環境にあって、当社グループは中期経営計画に掲げる取り組みの実行前倒しに努め、新たな成長を築くための新事業・新分野の開発・開拓を行うとともに、確固たる利益体質を築くための諸施策を実行してまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点で、本年5月9日に公表いたしました予想に変更はなく、右表のとおり予想しております。



通期業績の見通し	連 結	単 体
売上高	17,500百万円 (前期比 1.7%増)	16,000百万円 (前期比 0.6%減)
経常利益	500百万円 (前期比 35.3%減)	400百万円 (前期比 42.0%減)
当期純利益	210百万円 (前期比 76.9%減)	140百万円 (前期比 83.2%減)



海外展開に対する基本的な考え方

●海外展開は持続的成長のために欠かせない要素

国内市場が縮小する一方、経済・社会のボーダーレス化が進み、アジア経済の発展も目覚ましい現在において、海外での事業展開は、国内製造業が継続的発展を遂げるために欠かすことのできない重要な要素のひとつとなりつつあります。

タカノでは、検査計測機器事業に関係するFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）の生産拠点が中国・韓国等へ移行傾向にあることを受け、検査計測機器事業をはじめとするエレクトロニクス関連事業を中心に、これまで国外に目を向けた事業を行ってまいりました。しかしながら、経済・社会におけるグローバル化がますます加速する状況下では、さらに積極的に海外マーケットの開拓や海外向け商品の開発を行い、全社的に海外展開を進める必要があると考えております。

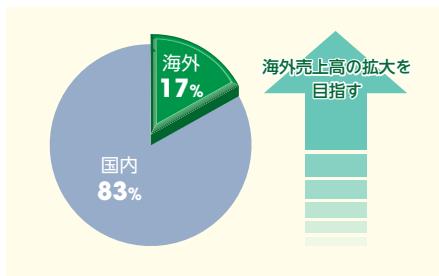
そこで、2011年3月期から2014年3月期までの中期経営計画の基本方針のひとつに「グローバル化への対応を進める」と掲げ、これまで以上に“グローバル化”を意識した事業活動を推進しております。

●海外拠点の設立等により足場固めを進める

現在当社はアジア地域に4社の海外子会社を設立し、主に海外における仕入・販売の拠点としております。このうち、香港鷹野国際有限公司は、エレクトロニクス製品の輸出入等を目的に、本年8月に新設いたしました。(P4図) 海外拠点設立や海外仕入等によるコスト削減等の面では、当社もグローバル化への対応を着実に進めております。

なお、2011年3月期における海外売上高は2,928百万円、連結売上高に占める割合は17%であり、現在は中国・韓国等アジア地域を中心に販売を拡大しております。

2011年3月期 連結海外売上高比率



●タカノの強みを活かし、国内外のニーズに応える

当社がさらに取り組むべき課題として、海外マーケットの開拓が挙げられます。

当社の長期的発展のためには、海外マーケットの開拓において、既存商品の海外展開によって市場拡大を図るばかりではなく、海外市場が求める商品を新たに開発するという、より積極的な姿勢が重要となると考えております。

当社はこれまで、「お客さまの求める真に価値ある商品・サービスを提供する」という理念のもとに事業を展開してまいりました。海外展開においてもこの姿勢を貫き、文化・経済を理解することによりその国ならではのニーズを発掘し、積極的な商品提案を行うことが、当社の持続的発展につながるものと考えております。

当社では今後も、国内外において、当社にしかできない価値ある商品・サービスの提供を目指してまいります。

12月営業開始予定

香港鷹野国際有限公司

所在地：中華人民共和国香港特別行政区
事業の内容：産業機器（電磁アクチュエータ）製品、検査計測機器製品およびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売（輸出入）

タカノコリア株式会社

所在地：韓国京畿道安養市
事業の内容：検査装置の製造販売

上海鷹野商貿有限公司

所在地：中華人民共和国上海市
事業の内容：オフィス椅子等の仕入販売

台湾鷹野股份有限公司

所在地：中華民国台北縣林口郷
事業の内容：検査装置の保守サービス

各事業における海外展開施策

当社では、全社的に海外展開を推進する中でも、特に、検査計測機器事業、産業機器事業、住生活関連機器事業において重点的な取り組みを行っております。

検査計測機器事業

現地調達の拡充と海外サポート体制の充実を図る



当事業の主力製品が関係するFPD製造装置をはじめ、当事業が次期開拓分野として掲げる太陽電池パネル等新エネルギー関連装置の生産拠点は、今後海外が中心となっていくものと思われます。そこで、当社においては、海外子会社を活用し、部材の現地調達や装置の現地生産体制の強化によるコストダウンと生産スピードアップを図るとともに、アフターフォロー体制を拡充し、お客さまにとってより質の高い商品・サービスの提供を目指してまいります。



産業機器事業

海外拠点の活用により、中国、ヨーロッパ、米国向け販売の拡大を目指す



当事業では、かねてから海外市場への積極的な販売促進活動を進めており、中国、ヨーロッパ、米国等の海外向け販売が拡大しつつあります。今後はこれをさらに推し進め、本年8月に設立した香港鷹野国際有限公司のフル活用により、部材の現地調達および製品の現地生産体制を整え、海外向け販売のさらなる拡大を目指します。現在、当事業では、中国においては織機、ヨーロッパにおいては金融機器、米国においては光学機器向けの電磁アクチュエータの販売が中心となっております。今後の方策としては、中国では今後ATM設置台数の増加が期待できることから、金融機器向け製品の販売拡大を図るべく、品質を保ちながらも価格を抑えた製品の開発を進めてまいります。

ヨーロッパ市場に対しては、金融機器向け製品の販売をさらに拡大するとともに、光学機器および郵便区分機分野での受注獲得を目指してまいります。

米国については、郵便市場へ向けた新製品を販売するとともに、同国でセキュリティ関連製品の需要が拡大していることから、光学機器市場の開拓を図ってまいります。

いずれの市場についても、香港鷹野国際有限公司を足がかりとし、国内で培った技術を活かして、ニーズを捉えた提案を行ってまいります。

住生活関連機器事業

新たな成長機会獲得に向け、中国市場へ積極展開



当事業では、オフィス家具、福祉・医療機器等を製造・販売しております。オフィス家具については、当社顧客の中国市場展開への対応を図るべく2010年に設立した上海鷹野商貿有限公司を活用し、資材の海外調達や中国現地生産によるコストダウン等を推進するとともに、中国オフィス家具市場向け製品の開発を進めてまいります。

福祉・医療機器については、近年少子高齢化が加速し、福祉・医療分野の需要拡大が期待される中国市場への参入を目指します。現在、日本国内でも人気の高い車椅子用クッションや、FSA（圧力分布測定装置）等を中心に営業活動を行っており、中国向けウェブ

ページの立ち上げや流通ルートの確立により販売拡大に努めております。さらに、中国国内での医療機器販売に係る資格を取得し、医療機器の販売を開始するとともに、中国向け商品の開発を進めるべく、体制の構築を進めております。



クローズアップ タカノ

健康福祉部

『AI-WALK』が2011年度グッドデザイン賞を受賞

健康福祉部が開発した『AI-WALK(アイウォーク)』が、2011年度グッドデザイン賞を受賞しました。

『AI-WALK』はシンプルなデザインながら、杖のような歩行補助機能を持ち、さらに側面のフックに荷物をかけることができるといふ「ショッピングアシストツール」としての機能を兼ね備えています。また、折りたたむことによりコンパクトに収まり、バスや電車でも場所をとりません。

ウォーキングや街中でのショッピングなど様々なシーンで歩行を補助する『AI-WALK』は、従来の「杖」「歩行補助器具」の概念を打ち破り、日常生活のなかで「荷物を持って歩く」際の身近な支援ツールとして、老若男女幅広くお使いいただけます。



【価格】¥13,650(税込)
【重量】1.3kg
【カラー】シルバー、ブラック
【サイズ】ハイタイプ、ロータイプの2種類

新事業開発部

『センサEXPOジャパン2011』へ製品5点を出品

本年10月、東京ビッグサイトで行われた『センサEXPOジャパン2011』に、新事業開発部がセンサ関連製品等を出展いたしました。

温度変化が大きい環境下や高温環境下でも安定測定が可能な「ストレインセンサ」（公益財団法人電磁材料研究所と共同開発）と、立体構造物等の表面締付け圧力（衣類による圧等）を測定するシステム「コンプレス-3D」をメインに、東京大学と共同研究である布地の圧力分布センサなど、他社にないオリジナルの圧力分布測定システムをPRいたしました。

3日間で、「自動車」「医療・健康・福祉」「学術・研究機関」など様々な業種のお客さま約300名にご来場いただき、好評

のうちに展示会を終了することができました。

今後、いただいたご意見を製品開発へフィードバックし、迅速な事業化へ活かしてまいります。



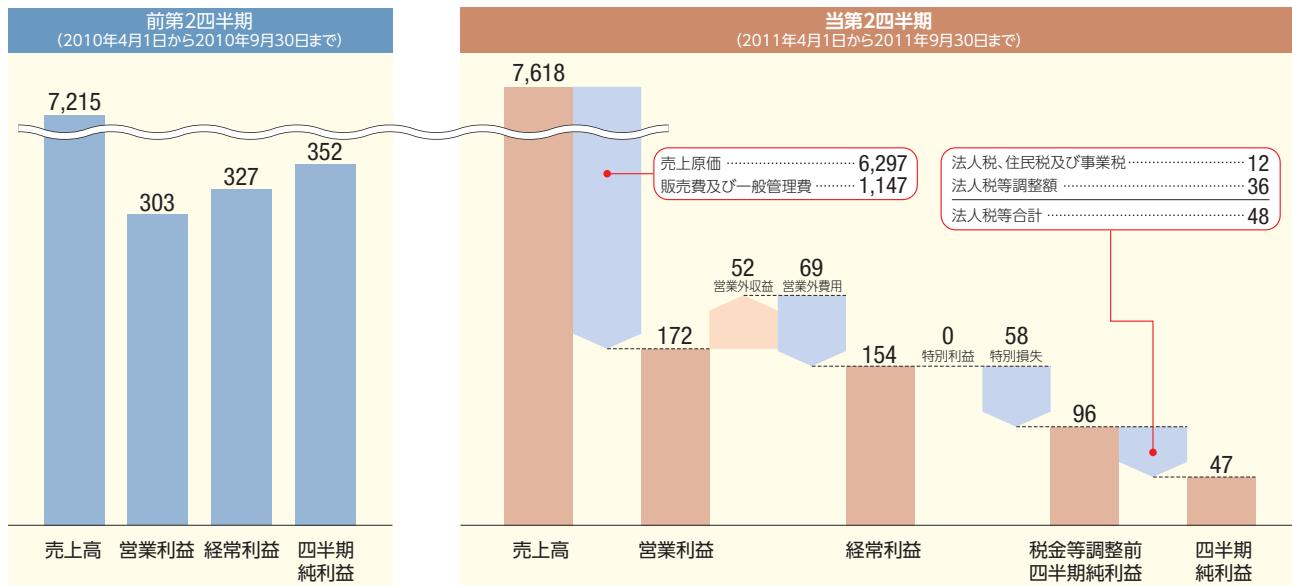


四半期連結決算概要(要旨)



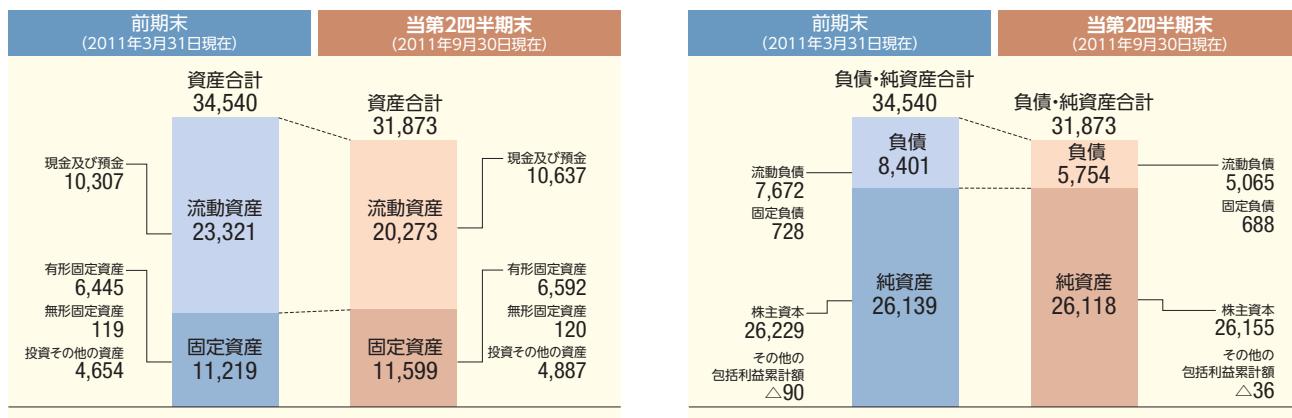
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



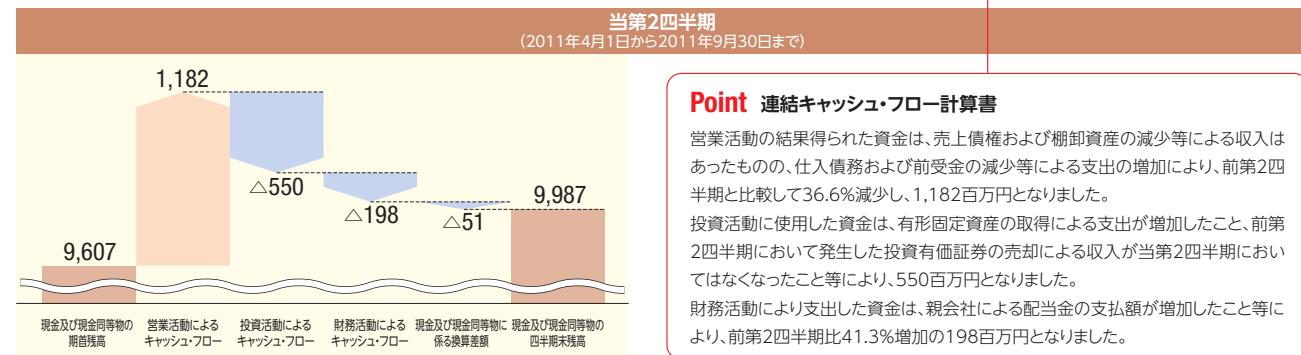
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



Point 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動の結果得られた資金は、売上債権および棚卸資産の減少等による収入はあったものの、仕入債務および前受金の減少等による支出の増加により、前第2四半期と比較して36.6%減少し、1,182百万円となりました。

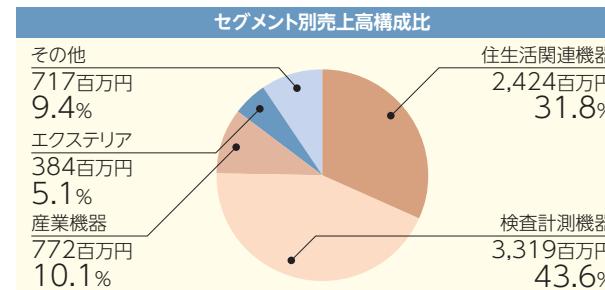
投資活動に使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が増加したこと、前第2四半期において発生した投資有価証券の売却による収入が当第2四半期においてはなくなったこと等により、550百万円となりました。

財務活動により支出した資金は、親会社による配当金の支払額が増加したこと等により、前第2四半期比41.3%増加の198百万円となりました。

セグメント別概況

(単位：百万円)

セグメント	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減率
住生活関連機器	2,762	2,424	△12.2%	△31	△243	-%
検査計測機器	2,374	3,319	39.8%	77	414	436.8%
産業機器	829	772	△6.9%	223	105	△52.6%
エクステリア	387	384	△0.6%	△18	△92	-%
その他	861	717	△16.7%	66	△29	-%
セグメント間取引消去	-	-	-	△13	18	-%
合計	7,215	7,618	5.6%	303	172	43.1%





会社概要

Corporate Profile



Stock Information

会社概要 (2011年9月30日現在)

商号 タカノ株式会社
 本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
 創業 1941年7月1日
 設立 1953年7月18日
 資本金 20億1,590万円
 事業内容 事務用椅子、その他椅子等の
 オフィス家具、ばね、エクス
 テリア製品、エレクトロニク
 ス関連製品、医療・健康福祉
 機器の製造並びに販売
 従業員数 459名
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部

グループ会社

- 株式会社ニッコー
 住所 長野県上伊那郡宮田村
 事業内容 工具・器具機械等の仕入販売
 資本金 90百万円
- タカノ機械株式会社
 住所 長野県上伊那郡宮田村
 事業内容 省力化機械の製造販売
 資本金 50百万円
- 台湾鷹野股份有限公司
 住所 中華民国台北縣林口鄉
 事業内容 検査装置の保守サービス
 資本金 20百万新台幣元
- タカノコリア株式会社
 住所 韓国京畿道安養市
 事業内容 検査装置の製造販売
 資本金 10億ウォン
- 上海鷹野商貿有限公司
 住所 中華人民共和国上海市
 事業内容 オフィス椅子等の仕入販売
 資本金 25万米ドル
- 香港鷹野國際有限公司
 住所 中華人民共和国香港特別行政区
 事業内容 エレクトロニクス製品および製
 品にかかる部品等の仕入・販売
 (輸出入)
 資本金 1,000,000香港ドル
 ※資本金は2011年10月に払込みを行っており、12
 月の営業開始へ向け、現在準備中です。

※上記グループ会社は全て出資比率100%の子会社です。

役員 (2011年9月30日現在)

代表取締役社長 鷹野 準
 常務取締役 鷹野 力章
 常務取締役 小田切 章
 常務取締役 大原 明夫
 取締役 窪田 守男
 取締役 久留島 馨
 取締役 臼井 俊行
 取締役 黒田 章裕
 取締役 山口 努
 常勤監査役 戸枝 茂夫
 監査役 長谷川 洋二
 (社外監査役)
 監査役 小澤 輝彦
 (社外監査役)

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。是非ご覧ください。



<http://www.takano-net.co.jp>

株主優待制度のご案内

2011年度の株主優待は、2011年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは下記の6点の商品の中から1点お選びいただき贈呈いたします。なお、商品は12月中旬※までに発送する予定です。

100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、12月上旬に当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」をお送りいたします。
 ※商品の適期にお送りするため「ワイン」「りんご」「やまいも」「市田柿」は発送時期が前後することがございます。



A.山ぶどうワイン B.信州りんご



C.高級なめ苺「志賀の郷」 D.信州のやまいも



E.信州富士見高原ハム・ソーセージ F.市田柿

株式の状況 (2011年9月30日現在)

●株式・株主の総数

発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式総数 15,721,000株
 株主数 6,027名

●大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	13.68%
鷹野 準	1,740,700株	11.07%
堀井 朝運	1,487,400株	9.46%
日本発条株式会社	1,151,500株	7.32%
みずほ信託銀行株式会社	1,000,000株	6.36%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	580,100株	3.68%
タカノ株式会社	524,660株	3.33%
鷹野 力	417,300株	2.65%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	305,800株	1.94%
株式会社八十二銀行	283,900株	1.80%

(注) みずほ信託銀行株式会社の保有株式は、すべて日本発条株式会社の信託財産であります。

●株価の推移



●所有者別株式の分布状況

